

放課後等デイサービス事業自己評価表

令和2年3月27日  
放課後等デイサービス はるるん

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1 利用者定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	○			児童の特性や相性を考えて、施設内の空き部屋も活用して活動を分散している。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			定員に対して適切な配置数は確保しており、外出時等は増員している。しかし、男性職員が少ないので、異性の支援においては課題である。
	3 事業所等の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			○	駐車場との間に階段や距離がある為、必要に応じて職員が補助に入っている。
業務改善	4 業務改善を進める為の PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			終日利用が続く多忙な時期は意思疎通が不十分な時もあるが、定期的にミーティングを実施し、議事録も作成して振り返りが出来るようにしている。会議には引継ぎノートを準備して、情報を共有している。些細な事も共有出来るようにホワイトボードも活用している。
	5 保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの実施を行い、保護者の要望や意見を把握して業務改善を行っている。
	6 この自己評価の結果を、事業所のホームページに等で公開しているか	○			自己評価の結果はホームページにて公開する。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後は、他部署でも自己評価アンケートを実施して、業務改善を図ることを検討する。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修や法人内の研修にも参加している。報告書を作成し、参加していない職員に伝達している。今後、更に研修の機会を増やしていきたいように努める。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントにて課題やニーズを伺っている。成長と共に変化するものなので、ミーティングなどで定期的に振り返りを行っている。また、日頃から保護者の方とは密な関わりを持つようにしている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		当事業所のアセスメント表を活用している。活動では必要のない部分(入浴等)もあるが、生活面全体を考慮したものである。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			1日利用時は活動計画を作成しており、それぞれの意見も聞くように努めている。
	12 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			他事業所の意見等も参考にしながら工夫をしている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか			○	休日は運動や課題に取り組んでいる。利用する児童の相性や平日の限られた時間では、支援が不十分な日もあるが、出来る限り役割や課題を決めるようにしている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントにて課題やニーズを伺っている。成長と共に変化するものなので、ミーティングなどで定期的に振り返りを行っている。また、日頃から保護者の方とは密な関わりを持つようにしている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			利用開始前に前日の状況確認等は行っている。また、日々の日誌等で前日にどのような事が起きたのか確認出来るようにしている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	翌日の利用前に状況確認等を行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、細かく記録をしている。
	18 定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			ミーティングの時間を活用して、必ず半年に1回はモニタリングを行い、サービス内容の見直しを行っている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか			○	基本的な活動は行っているが、地域との交流については、実施できていない為、今後、検討していく。

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			状況に精通した職員が会議に参加出来るように努めている。児童発達支援管理責任者が会議に参加する事が多いが、きちんと状況を把握している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			毎日の送迎時に担任の先生と情報交換・共有を行っている。しかし、学校によっては連携の度合いに差がある為、こちらから細めに連絡を取るようになっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在該当するケースなし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		同法人の児童発達支援事業を利用した後に、利用して頂く方は、情報共有している。その他の児童でも出来るように、今後は相談支援専門員に相談をする。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			次の事業所への移行前に情報提供したり、移行後も支援方法を助言したりしている。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			同法人に発達障がい者支援センターがあるので、助言を頂いている。場合によっては児童を見て頂き、アドバイスを頂いている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	近隣大学の文化祭やお祭り、イベントに参加して学生との交流はあるが、地域の子どもとの交流の場は中々ないので、今後検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	利用時間に協議会があるので中々参加出来ない。人員調整を行い、参加する体制を作る。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日頃から保護者の方との会話を大事にしており、子どもの状況や課題を共有している。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているのか			○	以前は保護者向けの研修を提供していたが、今年度は出来ていない。今後実施する方向で検討する。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時に運営規定や支援内容、利用者負担について説明を行っている。また、制度が変更になる度に、書類を作成し説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			子育てに限らず相談があれば、どのような悩みも、その都度対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			不定期に保護者意見交換会を行い、年1回懇親会を実施している。意見交換会に関しては、日中に仕事をしている保護者の方が多く不参加者も多い為、夜に開催する案もあったが、保護者会が開催されている時間に子どもを預けなければならないので(職員の子ども含め)、方法を検討しなければならない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付窓口を立てており、苦情や要望等にはその都度、きちんと対応している。24時間連絡が出来るようにメール等の受付も行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページや法人全体の広報誌、まいづれ(地域情報サイト)で活動内容を発信している。まだ、その事自体を知らない保護者の方がいるので、それも踏まえて情報提供を行っていく。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			契約時に個人情報の取り扱いについて説明をしている。ホームページや広報誌に顔写真が載ってもいいか等の細かい部分まで確認をしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			日頃からどんな事でも話が出来る雰囲気作りに努めており、24時間体制でメールの受付も行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	当事業所で地域住民を招待するような行事は行っていない。今後、検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		インフルエンザや嘔吐下痢等の感染症に関するマニュアルは掲示している。台風等の災害時は前日や当日に定期的に保護者の方と連絡を取り合っている。また、設備や体制等のマニュアルは整えている。その事を知らない保護者もいるので、周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出やその他必要な訓練を行っているか	○			法人全体で定期的に避難訓練を行っている。また、当事業所のみ避難訓練も実施している。その事を知らない保護者もいるので、周知していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内で研修が行われている。虐待の事案や虐待防止に関する資料等は回覧し、周知するようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束は行っていないが、他害行為のある方もいるので、その際は他児童と引き離す為に抑えるような形で個室へ誘導している。保護者の方は把握している。現在、身体拘束が必要な児童はいないが、今後そういった児童と契約を行う際は個別支援計画にも記載をする。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		契約の際にアセスメントを取って食物アレルギーの有無を確認して対応している。医師からの指示書までは頂いていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ミーティング時に振り返りを行っている。また法人内にリスク係があり、ヒヤリハット報告書を作成している。今後は、当事業所のみヒヤリハット報告書を作成して、情報共有する。